



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

研究会・集会案内

岡山天体物理観測所 特別天体観望会のご案内

国立天文台岡山天体物理観測所 (OAO) は、日本一大きな 188 cm 反射望遠鏡による特別天体観望会を行います。観望会に参加をご希望される方は、下記要項にしたがってご応募ください。

記

1. 日時：4月3日(土曜日)午後7時30分以降、1時間程度で4班編成(観望時間 約30分、博物館 約30分)
2. 場所：岡山天体物理観測所、岡山天文博物館
3. 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴のこと)
4. 天体：土星、木星等を予定
5. 定員：100名
6. 参加料：無料
7. 希望スタート時間：・19:30・20:00・20:30・21:00・何処でも(但し、編成の都合上ご希望に添えない場合があります)
8. 申込方法：往復ハガキに代表者の住所、氏名、年齢、連絡先電話番号と、参加者全員の氏名、年齢、上記の希望スタート時間の番号を必ず記入して下さい。
申込人数はハガキ1枚につき5名迄。
3月15日(月曜日)必着。結果は、3月22日(月)までに連絡いたします。
9. 申込先：〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄3037-5 岡山天体物理観測所
10. 問合せ先：電話：0865-44-2155(代表)
(休祭日を除く月曜～金曜の9時より17時まで)
Fax: 0865-44-2360
URL: <http://www.cc.nao.ac.jp/oa>
主催：国立天文台 岡山天体物理観測所
共催：鴨方町 岡山天文博物館

会務案内

正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 松田卓也

2004 年度春季総会開催のお知らせ

— 綴じ込みの返信用葉書で 3 月 16 日 (火) までに到着するようご投票を! —

下記の通り 2004 年度春季総会を開催いたしますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の 5 分の 1 以上の出席が必要です(定款第 42 条)。欠席される場合には、下記の議案および説明をよくお読みの上、次の (1) または (2) のどちらかの対応して下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書(以下「葉書」と呼ぶ)を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。

「葉書」は、3 月 16 日 (火) までに天文学会事務所に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。なお、下記の「投票および委任状の書き方」を参照して下さい。

○2004 年度春季総会

日時：2004 年 3 月 23 日 (火)

15 時 30 分～17 時 00 分

(総会出席者確認：15 時 30 分～16 時 00 分、
総会開始 16 時 00 分)

場所：名古屋大学 東山キャンパス共通教育棟 3 階 (G 会場)

注意：総会出席確認作業の時間中に会場へ入場して下さい。確認された方には表決の時に必要な札をお渡します。

○議案の内容と説明

第1号議案 2003年度事業報告書(案)

天文月報 2004年3月号 191~195 ページ参照

第2号議案 2003年度決算報告書(案), 監査報告

天文月報 2004年3月号 196~201 ページ参照

また, 2003年度各賞の授与式を行います。

○「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は, 綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか, 委任状を提出して下さい。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は, それぞれの議案について「賛成」「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば, 所定の欄に記入し, 書ききれないときは別紙に書いて事務所宛にお送り下さい。

なお, 次の投票は無効となり, 出席会員数に数えません。

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号, 住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票(正会員以外の者)。
- 5) 2重投票

次の票は出席会員数には入れるが, 棄権票として扱います。

- 1) 賛成, 反対の意思表示をせず, 意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については, 次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名, 自署, 捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号, 住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として, 単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの。

【第1号議案】

社団法人 日本天文学会 2003年度事業報告書(案)

2003年度は本会創立96年目, 社団法人設立後69年目にあたる。

I. 出版物の刊行

1. 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical

Society of Japan): 第55巻1号~6号, 総論文数127編(うち Letter 20, 野辺山ミリ波干渉計特集号8, しし座流星群8), 総頁数1,298, 発行部数1,800部, 偶数月の25日発行, 科学研究費補助金(定期刊行物)720万円を受領

2. 天文月報: 第96巻1号~12号, 総頁数696, 総目次10頁, 発行部数3,200部, 毎月20日発行
3. 年会予稿集: 2003年春・秋季年会の2回発行, 総頁数548, 各850部印刷
4. ジュニアセッション: 春季講演予稿集57頁, 500部印刷
5. 春・秋公開講演会: 冊子16頁, 各500部印刷

II. 年会の開催

1. 2003年春季年会(宮城県)

◇年会: 3月24日(月)~3月26日(水)

東北大学 川内北キャンパス(仙台市青葉区)の11会場(口頭発表用7, ポスター発表用4)を使って開催された。参加者: 796名(他にジュニアセッション参加者61名)

- 講演数: 538件(口頭314, ポスター224)他にポストデットライン講演4件, 最新情報コーナー2件であった。
- 企画セッション: コンビナー制として「光赤外の将来計画とサイエンス」の企画セッションが開催された。
- 懇親会: 3月25日(火)18:30~20:30 東北大学生協・食堂 参加者370名

◇記者会見: 3月23日(日)13:30~ 仙台市国際センター

年会講演から2トピックスを選び, 4社の報道機関と会見し資料を提供した。

◇天文教育フォーラム: 3月26日(水)14:00~15:30 参加者約100名

「21世紀型科学教育の創造—プラネタリウム館・公開天文台の社会的役割—」(天文教育普及研究会と共催)

◇ALMA 特別セッション: 3月24日(月)16:00~18:00 参加者約280名

「ALMAで探る宇宙星間物質: 初期宇宙から原始惑星系まで」

本セッションは, 日本天文学会, 日本学術会議天文学研究連絡委員会, 同天文学国際共同観測専門委員会, 同電波科学研究連絡委員会J分科会, 国立天文台電波専門委員会ALMA計画推進小委員会の5者による共催である。

◇ジュニアセッション: 3月26日(水)9:00~

14:00 参加者 170 名

第五回ジュニアセッションを開催した。講演数 17 件（口頭発表 14 件，ポスター発表 11 件，ポスターのみ発表は 3 件）。天文教育普及研究会と共催，日本惑星協会・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・仙台市天文台の後援を頂いた。

◇保育室：4 家族，子ども延べ 9 名の利用があった。

◇公開講演会：3 月 23 日（日）14:00～17:00 仙台市国際センター 参加者 100 名

「21 世紀の天文学を楽しむ」

- 宇宙の歩き方

（西はりま天文台公園園長 黒田武彦氏）

- 宇宙の読み方

（国立天文台台長 海部宣男氏）

2. 2003 年秋季年会（愛媛県）

◇年会：9 月 25 日（木）～9 月 27 日（土）

愛媛大学 城北キャンパス（松山市文京町）の 9 会場（口頭発表用 7，ポスター発表用 2）を使って開催された。

- 参加者：789 名（別にジュニアセッション 9 名）

- 講演数：595 件（口頭：320，ポスター：275）他にポストデッドライン 1 件があった。

- 企画セッション：コンピーナー制で次の 2 つのテーマで行われた。「南天の探究」，「アマチュアとプロの連携による天文学」

- 懇親会：大学生協食堂 参加者 398 名

◇記者会見：9 月 24 日（水）13:30～ 愛媛大学城北キャンパス

年会講演から 3 トピックスを選び，5 社の報道機関と会見し資料を提供した。

◇特別セッション：9 月 25 日（木）16:00～17:30 参加者約 200 名

「日本学術会議の改革について」

◇ALMA 特別セッション：9 月 25 日（木）17:30～19:00 参加者約 200 名

「ALMA で探る宇宙—ALMA は近傍銀河に何を見るか—」

本セッションは，日本天文学会，日本学術会議天文学研究連絡委員会，同天文学国際共同観測専門委員会，同電波科学研究連絡委員会 J 分科会，国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会の 5 者共催で開かれた。

◇ジュニアセッション：ポスターのみの受付，3 件。

◇保育室：2 家族，子ども延べ 6 人の利用者

◇公開講演会：9 月 28 日（日）松山市民会館 参加者 125 名

「21 世紀・宇宙への挑戦」

- 講演 東京大学教授 牧島一夫氏

「ガスを吸い込むブラックホールと X 線の放射」

- 講演 国立天文台教授 家 正則氏

「すばる望遠鏡で見る遠宇宙」

III. 各賞の授与

春季通常総会（東北大学）の場で，次の方々へ 2002 年度の各賞を授与した。

1. 天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞

◎天体発見賞（13 件 11 名）

- 佐野康男（さの やすお）氏：超新星 2002an の発見

- 広瀬洋治（ひろせ ようじ）氏：超新星 2002ap の発見

- 串田麗樹（くしだ れいき）氏：超新星 2002cr の発見，超新星 2001fk の発見

- 土井隆雄（どい たかお）氏：超新星 2002gw の発見

- MISAO プロジェクト：2001 年のケフェウス座の新星らしき天体の発見

- 長谷田勝美（はせだ かつみ）氏：新星へびつかい座 V2540 の発見，新星いて座 V4743 の発見

- 板垣公一（いたがき こういち）氏：NGC 205 (=M 110) の新星らしき天体の発見

- 池谷 薫（いけや かおる）氏：周期彗星 153P/2002 C1 (Ikeya-Zhang) の発見

- 宇都宮章吾（うつのみや しょうご）氏：彗星 C/2002 F1 (Utsunomiya) の発見

- 鈴木雅之（すずき まさゆき）氏：彗星 C/2002 O 6 (SWAN) の発見

- 工藤哲生（くどう てつお）氏：彗星 C/2002 X5 (Kudo-Fujikawa) の発見

◎天体発見功労賞（5 件）

- 村上茂樹（むらかみ しげき）氏：彗星 C/2002 E2 (Snyder-Murakami) の独立発見

- 藤川繁久（ふじかわ しげひさ）氏：彗星 C/2002 X5 (Kudo-Fujikawa) の独立発見

- 中村祐二（なかむら ゆうじ）氏：新星へびつかい座 V2540 の独立発見

- 広瀬洋治（ひろせ ようじ）氏：超新星 2002bo の独立発見

- 串田麗樹（くしだ れいき）氏：超新星 2002db の独立発見

◎天文功労賞（2 名）

- 広瀬敏夫（ひろせ としお）氏：星食・掩蔽の観測と指導（長期的な業績）

- 早水 勉 (はやみず つとむ) 氏: 土星の衛星テ
ティスによる掩蔽の観測指揮 (短期的な業績)
- 2. 研究奨励賞 (第 14 回, 3 名)
 - 大西利和 (おおにし としかず) 氏: 名古屋大学
大学院理学系研究科・助手
研究テーマ: 「おうし座における星のない分子雲
コアの観測的研究」
 - 北山 哲 (きたやま てつ) 氏: 東邦大学理学
部・講師
研究テーマ: 「銀河団の多周波観測による観測的
宇宙論」
 - 小久保英一郎 (こくぼ えいいちろう) 氏: 国立
天文台理論天文学研究系・助手
研究テーマ: 「惑星系形成過程の理論的研究」
- 3. 林忠四郎賞 (第 7 回)・欧文報告論文賞 (第 7 回)
 - ◎林忠四郎賞 (1 名)
 - 福井康雄 (ふくい やすお) 氏: 名古屋大学大学
院理学研究科・教授
研究の表題: 「星間分子雲の網羅的観測による星
形成初期過程の研究」
 - ◎欧文報告論文賞 (1 件 3 名)
 - 受賞論文名: **Metal Abundances in the Hot Inter-
stellar Medium in Early-Type Galaxies Observed
with ASCA (Publ. Astron. Soc. Japan, Vol. 52 pp.
685-710, 2000)**
共著者: 松下恭子, 大橋隆哉, 牧島一夫の各氏

IV. 総会・評議員会および理事会

1. 総会

2003 年春季総会

日時: 2003 年 3 月 25 日 (火) 16:00~17:00
場所: 東北大学 川内北キャンパス会議室 (A 棟
2F) (仙台市)
議長: 松田卓也氏 (天文月報 2003 年 6 月号 p. 363
議事録参照)

2003 年度秋季総会

日時: 2003 年 9 月 26 日 (金) 17:00~18:00
場所: 愛媛大学 城北キャンパス共通教育講義棟大
講義室 (A 会場) (松山市)
議長: 松田卓也氏 (天文月報 2003 年 12 月号 p. 695
議事録参照)

2. 評議員会

日時: 2003 年 1 月 25 日 (土) 11:00~17:00
場所: 国立天文台 大会議室 (三鷹市)
議長: 牧島一夫氏 (天文月報 2003 年 4 月号 p. 234
議事録参照)

日時: 2003 年 3 月 25 日 (火) 12:30~13:30
場所: 東北大学 川内北キャンパス会議室 (仙台市)
議長: 柴田一成氏 (天文月報 2003 年 6 月号 p. 362
議事録参照)

日時: 2003 年 7 月 5 日 (土) 11:30~14:35
場所: 国立天文台 南館一階大会議室 (三鷹市)
議長: 石黒正人氏 (天文月報 2003 年 9 月号 p. 515
議事録参照)

日時: 2003 年 9 月 26 日 (金) 12:30~13:25
場所: 愛媛大学 城北キャンパス会議室 (松山市)
議長: 太田耕司氏 (天文月報 2003 年 12 月号 p. 694
議事録参照)

3. 理事会

日時: 2003 年 1 月 11 日 (土) 11:00~16:30
場所: 国立天文台 大会議室 (三鷹市)
議長: 松田卓也氏 (天文月報 2003 年 4 月号 p. 231
議事録参照)

日時: 2003 年 3 月 24 日 (月) 12:00~13:40
場所: 東北大学 川内北キャンパス会議室 (仙台市)
議長: 松田卓也氏 (天文月報 2003 年 6 月号 p. 360
議事録参照)

日時: 2003 年 6 月 28 日 (土) 11:00~15:30
場所: 国立天文台 南館一階大会議室 (三鷹市)
議長: 松田卓也氏 (天文月報 2003 年 9 月号 p. 514
議事録参照)

日時: 2003 年 9 月 25 日 (木) 12:00~14:10
場所: 愛媛大学 城北キャンパス会議室 (松山市)
議長: 松田卓也氏 (天文月報 2003 年 12 月号 p. 693
議事録参照)

V. 委員会, 選挙, 共催・後援等, 民間の賞・助成, その他

1. 委員会関係

◇欧文研究報告編集委員会: 2003 年度は約 140 編の
論文が投稿された。全 6 回の発行により, 掲載論
文総数 127 編, 総頁数は 1,298 頁であった。第 1
号では「野辺山ミリ波干渉計」, 3 号では「しし座
流星群」の特集を掲載した。

◇天文月報編集委員会: 2003 年度は 12 回の発行を
行った。1 号, 4~6 号, 10~12 号では天文学界の
最近の動向や, 天文学の教育・普及に関する需要
を視野に入れた 6 つの特集を掲載した。タイム

りな特集は学界および読者にとっても有益であると思われるので、2004年度も同様の特集を企画してゆく方針である。また、直接出版費の見直しに伴い、天文月報の印刷業務を7月号から国際文献印刷社に移行した。

◇年会実行委員会：2003年度日本天文学会春季年会（3月24～26日・東北大学）および秋季年会（9月25～27日・愛媛大学）を開催した。準備にあたっては、1月17日および7月11日に年会実行委員会を国立天文台において開き、プログラムを編成した。なお春季年会では1件、秋季年会では2件の企画セッションが、いずれもコンピーナー制により開かれた。

◇天文教育委員会：年会時の公開講演会と天文教育フォーラム（共催）を開催した。また日本天文学会要望書「天文学に関する社会教育施設の充実」について記者会見を行い、地方自治体や社会教育施設関係者へ要望書を送付した。プラネタリウムなど一般向け講演会への講師派遣は、軌道に乗りつつある。

◇選挙管理委員会：総合科学技術会議などによる、日本学術会議の「見直し」に端を発し、「新制度」や第18期会員の任期延長等が取りざたされた。その後「従来通り」の連絡を受け、短期間で第19期の選挙を行い、各々の候補者等を推薦した（次項「2. 選挙」の項参照）。

◇林 忠四郎賞選考委員会：12月14日日本郷において、2003年度の林賞選考委員会を開催した。林賞に1件の受賞候補者を選考したが、欧文報告論文賞は本年度は該当論文なし、となった。なお、林賞に関して、前年度推薦書が提出された候補者は、次年度も候補者とする事が決められた。

◇研究奨励賞選考委員会：2003年度（第15回目）の研究奨励賞受賞候補者2名を選考した。

◇天体発見賞選考委員会：2003年度の天体発見賞候補者及び天体発見功労賞候補者、天文功労賞受賞者を選考した。

◇内地留学奨学金選考委員会：2004年度の内地留学奨学金の募集を行い、3名を選出した（天文月報2004年1月号参照）。また、選考基準について検討を加えた。

◇早川幸男基金選考委員会：渡航旅費補助の募集を年4回行い、応募者47名のうち採択者31名（内辞退者2名）に351万2千円（前年度留保者1名分19万8千円を含む）を援助した。佐藤明達氏より当基金へ500万円の寄付を頂いた。

◇ネットワーク委員会：事務所内計算機を常に適正

な状態に保守し、重要データ等のバックアップを適切に行った。また、総合科学技術会議への声明文や要望書「—天文学に関する社会教育施設の充実—」や「回転サーチライト等禁止の法制化についての要望書」を掲載するするなど、学会ホームページの内容を随時更新した。

◇天文教材小委員会：「世界星座早見」（天文学会監修三省堂刊）を発行した（前期メンバーで作製）。引続き今期メンバーで、同ジュニア版を改訂中（2004年刊行予定）。天文教材データベースの作成を検討中である。

◇創立100周年記念出版事業編集委員会：編集委員長より理事会に編集委員案を提出し、理事会の議決を経て理事長が任命した。最終的に17名からなる編集委員会が発足した。6月に第1回編集委員会を開催し、出版事業の基本方針を議論し、各巻の構成と内容についての具体的検討を開始した。8月に出版社社社に対して説明会を行い、企画書の提出を依頼した。11月に開催した第2回編集委員会で提出された企画書を審議し、出版社を選定した。編集委員会の作業用ホームページを立ち上げ、編集委員会の第一次案を作成中である。これが完成した時点で、広く会員の意見を伺う予定である。

◇学術交流費：賛助会員会費を使って、大学院生の年会における研究成果発表の際に、旅費の一部補助を行う制度である。2003年度の春季年会は東北大学、秋季年会は愛媛大学で開催された。秋季年会より「定額2万円を差し引いた後に、予算額に合わせた率をかけて算定」する方式をとった。本年度は発表者148名に対して151万9千円の旅費補助を行った。

2. 選挙

◇日本学術会議第19期会員候補者の選挙については、月報2002年11月号（10月20日発行）誌上で選挙公示を行い、12月24日開票で準備を進めてきた。学術会議会員推薦管理会委員長より「第19期日本学術会議会員推薦手続きの延期」通知があり、月報1月号（12月20日発行）に選挙の中止を公告した。その後「従来通り」の連絡を受け、投票期間2月19日～3月10日として選挙を行い、3月11日評議員会の稟議を受けて会員候補者2名（池内 了氏、海部宣男氏）、会員候補者推薦人2名（観山正見氏、牧島一夫氏）、推薦人予備者1名（小杉健郎氏）を学術会議学術体制常置委員会へ推薦した。その後、学術会議会員推薦管理会委員長より、池内 了氏が第19期学術会議会員に、同

表 1 会員数

2002年12月31日	正会員(内学生)	準会員	団体会員	賛助会員	合計
	1,445 (309)	1,286	43	42	2,816
入会	155 (130)	34	1	1	191
退会	47 (35)	93	3	5	148
移籍(増)	7 (1)	26	0		33
移籍(減)	26 (7)	7	0		33
正会員(学生減)→(正会員)	(79)				
2003年12月31日	1,534 (319)	1,246	41	38	2,859

(注: 移籍とは正会員, 準会員と団体会員間の移動のことを指す)

補欠の会員として海部宣男氏が決定したとの通知があった。

- ◇2004年度科学研究費補助金審査委員候補者の選出を, 理事及び評議員で行い, 日本学術会議学術体制常置委員会へ推薦した(6月)。
- ◇第19期日本学術会議天文学研究連絡委員会委員候補者選挙及び, 定員15名から10名になった第15期日本天文学会評議員候補者の選挙を, 5月23日～6月20日間行い各々の候補者を選出した(評議員候補者選挙結果は, 天文月報2003年8号p. 465参照)。
- 3. 共催・後援等
 - ◇国際・国内シンポジウムなどの共催1件, 後援10件, 協賛5件を行った。
- 4. 民間の賞及び研究助成
 - ◇第43回東レ科学技術研究助成応募(銀河系とは何か?—6次元位相空間分布の高精度観測のための基礎開発—)に対して, 国立天文台教授 郷田直輝氏に1,000万円の研究助成が行われた。
 - ◇2003年度(財)山田科学振興財団研究援助応募(シンチレーターを塗布することによるX線CCDの高帯域高性能化の研究開発)に対して, 大阪大学大学院理学研究科助手 宮田恵美氏に250万円の研究援助があった。
- 5. その他
 - ◇文部科学省より, 科学研究費補助金「研究成果公開促進費研究成果発表(B)」(公開講演会)春秋2件に対して, 132万円が交付された。
 - ◇日本学術振興会より, 科学研究費補助金「研究成果公開促進費(学術定期刊行物: PASJ)」に対して, 720万円が交付された。
 - ◇(財)仙台観光コンベンション協会より, 春季年会開催助成金として24万円の交付があった。

◇(財)松山コンベンションビューローより, 秋季年会開催助成金として50万円の交付があった。

◇要望書「一天文学に関する社会教育施設の充実—」について, 国立天文台広報普及室のご協力により三鷹構内で8月7日記者会見を行い, 5社7名の出席を得た。その後6件以上が記事となった。本要望書は450カ所の関係部署(社会教育施設長及び施設所管長, 文部科学省, マスコミ, 政党など)へ送付された。

◇「総合科学技術会議の政策決定に関する声明文」を, 本会理事長・物理学会会長・地質学会会長名で作成し, 物理学会より11月4日小泉純一郎総合科学技術会議議長宛と新聞社数社に送付された。

◇「回転サーチライト等禁止の法制化についての要望書」を, 星空を守る会とともに12月11日小池百合子環境大臣宛に提出し(西尾環境管理局長対応), 同日同省内において記者会見を行った。

◇男女共同参画学協会連絡会(02年度発足: 天文学会は正式加盟)で実施したアンケート調査に協力した。回答の分析WGには, 加藤万里子天文教育委員会委員が加わっている。

◇会員からのPASJ寄贈72部のうち46部を発展途上国及びPASJ購入困難な国に寄贈(28カ国)している。

会員数

2003年12月31日現在の会員数は表1に示す通りである。

定款第12条に基づき, 1月の評議員会議決を経て, 正会員9名(内学生4名), 準会員9名, 団体会員1グループが2001年度からの会費未納のため除名された。

(文責 庶務理事: 杉山 直)

【第2号議案】

社団法人 日本天文学会 2003年度決算報告書(案)

《一般会計》

収支計算書

2003年1月1日～2003年12月31日

〔収入の部〕

(単位:円)

科目	予算額	決算額
基本財産運用収入	15,000	4,199
基本財産利息収入	15,000	4,199
会費収入	34,370,000	36,395,000
正会員会費	20,160,000	21,870,000
正会員(学生)会費	3,770,000	4,147,000
準会員会費	10,000,000	9,968,000
団体会員会費	440,000	410,000
事業収入	28,117,000	28,077,688
欧文研究報告発行事業収入	15,767,000	15,668,374
購読料	3,799,000	4,266,490
掲載料	7,568,000	8,220,594
別刷代	4,400,000	3,181,290
天文月報発行事業収入	4,700,000	3,859,312
購読料	800,000	591,962
別刷代	1,200,000	937,250
広告料	2,700,000	2,330,100
年会事業収入	7,650,000	8,550,002
予稿集頒布収入	2,400,000	2,562,000
登録料	5,000,000	5,916,000
年会雑収入	250,000	72,002
補助金等収入	8,630,000	8,600,000
定期刊行物補助金	8,000,000	7,200,000
公開講演会補助金	630,000	660,000
年会補助金(仙台・松山)		740,000
寄付金収入	150,000	167,400
寄付金	150,000	167,400
印税収入	1,050,000	2,431,000
星座早見	1,000,000	2,394,000
その他	50,000	37,000
雑収入	1,010,000	2,201,434
受取利息	10,000	1,264
特別企画	500,000	593,480
その他の収入	500,000	1,242,690
延滞金		364,000
特定預金取崩収入	0	0
減価償却預金取崩	0	0
退職預金取崩	0	0
当期収入合計(A)	73,342,000	77,876,721
繰越収支差額	18,709,579	22,550,803
収入合計(B)	92,051,579	100,427,524

〔支出の部〕

(単位:円)

科目	予算額	決算額
事業費	53,663,000	48,470,886
欧文研究報告発行事業費	27,263,000	25,482,908
直接出版費	14,965,000	14,647,908
別刷印刷費	2,080,000	1,305,455
人件費	4,000,000	3,743,990
謝金	3,918,000	3,800,560
送料運搬費	2,000,000	1,798,326
消耗品費	200,000	122,798
雑費	100,000	63,871
天文月報発行事業費	18,850,000	15,630,607
直接出版費	10,520,000	7,889,913
別刷印刷費	800,000	734,342
人件費	1,300,000	1,299,735
謝金	2,330,000	2,408,000
送料運搬費	3,100,000	2,865,900
消耗品費	500,000	353,063
雑費	300,000	79,654
年会事業費	7,550,000	7,357,371
予稿集印刷費	2,000,000	1,863,539
謝金	1,150,000	1,095,750
送料運搬費	300,000	177,217
会場費	1,650,000	1,690,099
消耗品費	300,000	340,491
人件費	1,300,000	1,299,795
雑費	150,000	327,235
旅費交通費	350,000	259,520
保育室運営経費	200,000	163,853
ジュニアセッション経費	150,000	139,872
管理費	18,310,000	17,157,693
人件費	7,500,000	7,119,849
謝金	250,000	20,000
会議費	250,000	310,263
負担金	100,000	10,000
旅費交通費	1,000,000	1,050,920
送料通信費	950,000	632,554
什器備品費	1,000,000	590,051
消耗品費	1,100,000	1,056,779
印刷製本費	500,000	481,387
光熱水料費	300,000	203,446
賃借料	2,100,000	1,773,271
保険料	240,000	158,747
諸手数料	500,000	258,534
修繕費	100,000	29,820
書籍購入費	100,000	299,040
特別企画調製費	200,000	354,602
公開講演会諸経費	1,100,000	854,969
天体発見賞等経費	770,000	949,396
雑費	250,000	415,385
徴収不能額	0	588,680
特定預金支出	708,000	1,204,000
減価償却預金引当支出	500,000	1,000,000
退職引当預金支出	208,000	204,000
予備費	19,370,579	
当期支出合計(C)	92,051,579	66,832,579
当期収支差額(A)-(C)	△18,709,579	11,044,142
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	33,594,945

貸借対照表

2003年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	50,163,575		
未収会費	1,464,810		
貯蔵品	1,404,048		
有価証券	5,700,000		
未収入金	2,952,835		
流動資産合計		61,685,268	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	12,310,000		
基本財産合計	12,310,000		
その他の固定資産			
什器備品	2,742,459		
投資有価証券	1,200,000		
退職引当預金	595,000		
減価償却引当預金	4,022,918		
その他の固定資産合計	8,560,377		
固定資産合計		20,870,377	
資産合計			82,555,645
[負債の部]			
流動負債			
未払金	2,296,275		
前受金	1,662,000		
前受会費	22,728,000		
流動負債合計		26,686,275	
固定負債			
退職引当金	595,000		
固定負債合計		595,000	
負債合計			27,281,275
[正味財産の部]			
正味財産			55,274,370
(うち基本金)			(12,310,000)
(うち当期正味財産増加額)			(11,925,912)
負債及び正味財産合計			82,555,645

正味財産増減計算書

2003年1月1日～2003年12月31日

(単位:円)

科目	金額		
[増加の部]			
資産増加額			
当期収支差額	11,044,142		
什器備品増加額	1,776,272		
退職引当預金増加額	204,000		
減価償却引当預金増加額	1,000,622	14,025,036	
負債減少額			
増加額合計			14,025,036
[減少の部]			
資産減少額			
什器備品減価償却額	1,573,401		
什器備品廃棄額	314,218		
貯蔵品減少額	7,505	1,895,124	
負債増加額			
退職引当金繰入額	204,000	204,000	
減少額合計			2,099,124
当期正味財産増加額			11,925,912
前期繰越正味財産額			43,348,458
期末正味財産合計額			55,274,370

財産目録

2003年12月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
〔資産の部〕			
流 動 資 産			
現金・預金	50,163,575		
現金 手許有高	31,901,388		
普通預金	18,262,187		
東京三菱銀行	18,107,488		
住友信託銀行	154,699		
未収会費	1,464,810		
貯蔵品	1,404,048		
有価証券	5,700,000		
未収入金	2,952,835		
流動資産合計		61,685,268	
固 定 資 産			
基本財産			
投資有価証券	12,310,000		
基本財産合計	12,310,000		
その他の固定資産			
什器備品	2,742,459		
投資有価証券	1,200,000		
退職引当預金	595,000		
減価償却引当預金	4,022,918		
その他の固定資産合計	8,560,377		
固定資産合計		20,870,377	
資 産 合 計			82,555,645
〔負債の部〕			
流 動 負 債			
未払金	2,296,275		
前受金	1,662,000		
航空便前受	18,000		
予稿集前受	984,000		
その他の前受	660,000		
前受会費	22,728,000		
正会員会費	14,256,000		
正会員会費(学生)	2,236,000		
準会員会費	6,176,000		
団体会員会費	60,000		
流動負債合計		26,686,275	
固 定 負 債			
退職引当金	595,000		
固定負債合計		595,000	
負 債 合 計			27,281,275
正味財産合計			55,274,370

《特別会計》

学術交流費会計
収支計算書

2003年1月1日～2003年12月31日

(単位：円)

科目	予算額	決算額
〔収入の部〕		
賛助会員会費収入	1,440,000	1,350,000
受取利息	100	6
当期収入合計(A)	1,440,100	1,350,006
繰越収支差額	1,886,810	828,458
収入合計(B)	3,326,910	2,178,464
〔支出の部〕		
学術交流費	2,000,000	1,519,000
雑費	1,000	3,240
徴収不能額		30,000
当期支出合計(C)	2,001,000	1,552,240
当期収支差額(A)-(C)	△560,900	△202,234
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,325,910	626,224

貸借対照表

2003年12月31日

科目	金額		
〔資産の部〕			
流動資産			
現金・預金	656,224		
未収会費	120,000		
流動資産合計		776,224	
資産合計			776,224
〔負債の部〕			
流動負債			
前受会費	150,000		
流動負債合計		150,000	
負債合計			150,000
〔正味財産の部〕			
正味財産			626,224
(うち当期正味財産減少額)			(202,234)
負債及び正味財産合計			776,224

財産目録

2003年12月31日

科目	金額		
〔資産の部〕			
流動資産			
現金・預金	656,224		
普通預金	656,224		
東京三菱銀行	656,224		
未収会費	120,000		
流動資産合計		776,224	
資産合計			776,224
〔負債の部〕			
流動負債			
前受会費	150,000		
賛助会員会費	150,000		
流動負債合計		150,000	
負債合計			150,000
正味財産			626,224

内地留学奨学会会計
収支計算書

2003年1月1日～2003年12月31日

(単位：円)

科目	予算額	決算額
〔収入の部〕		
受取利息	7,000	621
当期収入合計(A)	7,000	621
繰越収支差額	4,219,218	3,876,006
収入合計(B)	4,226,218	3,876,627
〔支出の部〕		
奨学金支出	250,000	83,000
雑費	1,000	840
旅費支出	10,000	0
当期支出合計(C)	261,000	83,840
当期収支差額(A)-(C)	△254,000	△83,219
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,965,218	3,792,787

貸借対照表

2003年12月31日

科目	金額		
〔資産の部〕			
流動資産			
現金・預金	1,092,787		
有価証券	2,700,000		
流動資産合計		3,792,787	
資産合計			3,792,787
〔正味財産の部〕			
正味財産			3,792,787
(うち当期正味財産減少額)			(83,219)
負債及び正味財産合計			3,792,787

財産目録

2003年12月31日

科目	金額		
〔資産の部〕			
流動資産			
現金・預金	1,092,787		
普通預金	1,092,787		
住友信託銀行	1,092,787		
有価証券	2,700,000		
流動資産合計		3,792,787	
資産合計			3,792,787
正味財産			3,792,787

研究奨励賞会計
収支計算書

2003年1月1日～2003年12月31日

(単位：円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄付金収入	100,000	0
受取利息	500	9
当期収入合計(A)	100,500	9
繰越収支差額	5,721,070	5,471,909
収入合計(B)	5,821,570	5,471,918
[支出の部]		
奨励賞支出	200,000	300,000
雑費	30,000	248,859
旅費支出	40,000	12,000
当期支出合計(C)	270,000	560,859
当期収支差額(A)-(C)	△169,500	△560,850
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,551,570	4,911,059

貸借対照表

2003年12月31日

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	209,059		
定額預金	4,702,000		
流動資産合計		4,911,059	
資産合計			4,911,059
[正味財産の部]			
正味財産			4,911,059
(うち当期正味財産減少額)			(560,850)
負債及び正味財産合計			4,911,059

財産目録

2003年12月31日

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	209,059		
郵便預金	209,059		
定額預金	4,702,000		
流動資産合計		4,911,059	
資産合計			4,911,059
正味財産			4,911,059

早川幸男基金会計
収支計算書

2003年1月1日～2003年12月31日

(単位：円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
寄付金収入	1,000,000	5,000,000
受取利息	30,000	6,219
当期収入合計(A)	1,030,000	5,006,219
繰越収支差額	23,375,711	28,089,640
収入合計(B)	24,405,711	33,095,859
[支出の部]		
研究補助支出	2,700,000	3,512,655
雑費	10,000	9,555
当期支出合計(C)	2,710,000	3,522,210
当期収支差額(A)-(C)	△1,680,000	1,484,009
次期繰越収支差額(B)-(C)	21,695,711	29,573,649

貸借対照表

2003年12月31日

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	4,573,649		
有価証券	25,000,000		
流動資産合計		29,573,649	
資産合計			29,573,649
[正味財産の部]			
正味財産			29,573,649
(うち当期正味財産増加額)			(1,484,009)
負債及び正味財産合計			29,573,649

財産目録

2003年12月31日

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	4,573,649		
普通預金	4,573,649		
東京三菱銀行	4,374,856		
住友信託銀行	198,793		
有価証券	25,000,000		
流動資産合計		29,573,649	
資産合計			29,573,649
正味財産			29,573,649

林忠四郎賞会計
収支計算書

2003年1月1日～2003年12月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	20,000	2,975
当期収入合計(A)	20,000	2,975
繰越収支差額	16,107,937	14,360,857
収入合計(B)	16,127,937	14,363,832
[支出の部]		
林賞支出	300,000	300,000
雑費	10,000	14,300
旅費支出	150,000	71,000
当期支出合計(C)	460,000	385,300
当期収支差額(A)-(C)	△440,000	△382,325
次期繰越収支差額(B)-(C)	15,667,937	13,978,532

貸借対照表

2003年12月31日

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	978,532		
有価証券	13,000,000		
流動資産合計		13,978,532	
資産合計			13,978,532
[正味財産の部]			
正味財産			13,978,532
(うち当期正味財産減少額)			(382,325)
負債及び正味財産合計			13,978,532

財産目録

2003年12月31日

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	978,532		
普通預金	978,532		
住友信託銀行	978,532		
有価証券	13,000,000		
流動資産合計		13,978,532	
資産合計			13,978,532
正味財産			13,978,532

創立100周年記念出版事業会計
収支計算書

2003年1月1日～2003年12月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額
[収入の部]		
受取利息	0	240
当期収入合計(A)	0	240
繰越収支差額	30,000,022	30,000,022
収入合計(B)	30,000,022	30,000,262
[支出の部]		
出版経費	0	0
旅費支出	0	150,000
雑費	0	43,018
当期支出合計(C)	0	193,018
当期収支差額(A)-(C)	0	△192,778
次期繰越収支差額(B)-(C)	30,000,022	29,807,244

貸借対照表

2003年12月31日

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	29,807,244		
流動資産合計		29,807,244	
資産合計			29,807,244
[正味財産の部]			
正味財産			29,807,244
(うち当期正味財産減少額)			(192,778)
負債及び正味財産合計			29,807,244

財産目録

2003年12月31日

科目	金額		
[資産の部]			
流動資産			
現金・預金	29,807,244		
普通預金	29,807,244		
東京三菱銀行	29,807,244		
流動資産合計		29,807,244	
資産合計			29,807,244
正味財産			29,807,244

監査報告書

2003年度事業報告書、2003年度決算報告書について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令および定款に照らして正当であることを認めます。

2004年1月7日

社団法人 日本天文学会
監事 尾崎洋二 ㊞
監事 吉澤正則 ㊞

2003 年度日本天文学会各賞について

2003 年度日本天文学会各賞の受賞者と受賞項目は、2004 年 1 月 24 日の評議員会で次の通り決定されましたので報告致します。

◎天体発見賞（6 件 3 名）

- 板垣公一（いたがき こういち）氏：超新星 2003cg の発見，超新星 2003ed の発見，超新星 2003ia の発見，超新星 2003iy の発見
- 高尾 明（たかお あきら）氏：新星へびつかい座 V2573 の発見
- 西村栄男（にしむら ひでお）氏：新星たて座 V475 の発見

◎天体発見功労賞（2 件 2 名）

- 串田麗樹（くしだ れいき）氏：超新星 2003J の独立発見
- 山本 稔（やまもと みのる）氏：新星いて座 V4745 の独立発見

◎天文功労賞（3 件 4 名）

（長期的な業績）

- 豆田勝彦（まめた かつひこ）氏：長年にわたる流星の眼視観測

（短期的な業績）

- 高橋 進（たかはし すすむ）氏：GRB 030329 の残光の早期検出
- 杉江 淳（すぎえ あつし）氏：同 上
- 木下正雄（きのした まさお）氏：流星のクラスター現象の検出

◎研究奨励賞（2 件 2 名）

- 上田佳宏（うえだ よしひろ）氏：宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部・助手
研究テーマ：「X 線背景放射の起源と活動銀河核の宇宙論的進化の解明」
- 小松英一郎（こまつ えいいちろう）氏：University of Texas at Austin, Assistant Professor
研究テーマ：「宇宙マイクロ波背景放射による初期宇宙の探究」

◎林 忠四郎賞（1 件 2 名）

- 蜂巣 泉（はちす いずみ）氏：東京大学総合文化研究科・助教授
- 加藤万里子（かとう まりこ）氏：慶応義塾大学理工学部・助教授
研究の表題：「新星風理論の構築と Ia 型超新星の起源の解明」

◎欧文報告論文賞 該当論文なし

訃 報

本会員で当学会の元理事長 弓 滋氏が、去る 1 月 13 日に急逝されました（享年 87 歳）。謹んで御冥福をお祈りするとともに会員諸氏にお知らせ致します。

編集委員 土橋一仁(編集長), 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司, 亀野誠二, 濤崎智佳, 藤田 裕, 洞口俊博, 増田 智
平成 16 年 2 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: toukou@geppou.asj.or.jp